

2021年8月27日
(午後1時現在)
美須賀海運株式会社

当社管理船 座礁事故の件 (第6報)

8月11日(水) 八戸港外において、当社が MI-DAS LINE S.A.社(洞雲汽船株式会社の関連会社、以下「船主」)から船舶管理を請け負っております木材チップ専用船 CRIMSON POLARIS(クリムゾン・ポラリス、以下「本船」)が座礁し、船体の分断、油の流出が発生した件で、近隣住民の皆様、漁業関係者の皆様、その他関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますこと改めて深くお詫び申し上げます。

当社管理船 座礁事故(第5報)の通り、船体船首部の残存油抜き取り作業について、八戸港へ船体船首部を曳き入れた上で実施する計画に変更致しました。

本日(8月27日 正午) 関係者の皆様のご協力を頂き、地元曳船4隻、前方警戒用地元漁船2隻、油防除兼後方警戒船1隻の曳船編成にて、船体船首部の八戸港(1号D岸)への曳き入れを完了しましたのでご報告致します。

尚、着岸後は油防除措置として、オイルフェンスの展張、油防除船舶・資材の配備を実施しております。

今後、残存油の抜き取り準備を行った上で、8月30日より残存油の抜き取り作業を開始する予定で、9月中旬までの完了を目指しております。

今後の進捗状況については適宜ご報告をさせていただきます。

引き続き、海上保安庁をはじめ船主及び各関係者と協力して、油濁の防除作業を実施すると共に、船体の撤去に向けた準備作業を進め、被害の最小化と早期の事態解決に向けて全力で取り組んでまいります。

以上